

地域と中小企業を元気にする商工会議所

商工さかた

Monthly Commerce and Industry Newsletter

2

February
Vol.521

[今月の商工さかた]

- * 平成三十年新年賀詞交換会開催
- * 酒田産業会館の改築について
- * 新連載「西郷隆盛と庄内」
- * 会員@Home 鶴岡信用金庫

 **120**
ANNIV.TH

酒田商工会議所会報2018

総会員数 | 1,947事業所

[平成30年1月19日現在]

● 酒田商工会議所の
ホームページをご覧ください。

[酒田商工会議所](#)

[検索](#)



今年度の表紙のテーマ
「酒田のご長寿企業」
治郎兵衛 (1877年創業)

北前船交易で栄えた湊町の面影を映す台
町で、140年続く「うなぎ割烹治郎兵衛」。
五代目の樋渡淳子さんは「酒田の料亭文
化を守っていききたい」と、名物のうなぎ料
理や酒田の四季折々の味、心づくしのお
もてなしで老舗の看板を受け継いでいる。





酒田のご長寿企業

湊町酒田の料亭文化の伝統を守り、 時代が求める店づくりに努めている。

治郎兵衛の創業は、1877年(明治10年)で、当時は回船問屋を営んでいた。
割烹となつてからは昭和20年代にはジンギスカンの提供を始め、昭和40年代後半からうなぎ料理を中心に据えた。
3代目康治氏は「原爆の図」で知られる日本画家の丸木位里氏との交流も深く、幾度となく酒田を訪れた際に制作した作品が
店内に展示してある。2002年(平成14年)には、皇室に献上されたもち米「女鶴」と庄内豚を使用した
特製シューマイ「女鶴秀米(めづるしゅうまい)」を開発し通信販売を始めた。5代目の淳子さんは老舗としての心構えを
「時代とともに割烹や料亭に求められることは変わる」と真摯に将来を見つめ、昔ながらの四季の味も守りながら、
自らの育児経験をいかした食育への取り組みをフェイスブックで情報発信を行っている。

治郎兵衛

酒田市日吉町2-1-32

tel. 0234-24-0248

営業時間/11:00~14:00、16:00~21:30(不定休)



初代治郎兵衛にちなんだ絵柄の徳利



国産のウナギを使用しふっくらと焼きあげる



丸木位里氏が来酒した際に描いた「臥龍梅」



3代目康治氏の書による看板

 120 ANNIV. 120周年記念ロゴについて

海のきらめきと船の帆を意味する12個のピースは、酒田商人の結束と120年という歴史を表し、未来に向けてさらに積み重ねられていくようにとの願いを込めています。